そうだったのか!!

学校では教えてくれない英語の本質を学んで90日間のゲームをするだけでおもしろいほど話せる様になる英会話

Powered by SMART English

第三話

脳を活かす9倍速の英会話記憶アプリ

勝木：
ある2つの非効率なことを日本人はやっているからです。

ナレーション：
今回の動画では日本人が英語を勉強しても話せるようにならなかった原因が発覚！

勝木：
英単語をいっぱい1000個、2000個、3000個覚えても**英語はうまくなりません。**

ナレーション：
英単語をたくさん覚えてもムダ！

勝木：
絶対そんなに長文なんて覚える必要は一切ありません。

ナレーション：
長文を覚える必要がない
さらに

勝木：
脳科学をつかって反射的に口をついててでてくるように**刷り込む方法があるんです**、実は。

ナレーション：

<u>脳科学の力を使って遊びながら英語を勉強できる最新アプリを大公開！</u>

白石：

そうだったのか！脳科学ゲームで遊んでいるだけでおもしろいほど話せるようになる英会話！（拍手）

はい、今回もですね、ナビゲーター役を務めさせていただきます**白石 剛士**と申します。
スマートイングリッシュ3ヶ月でペラペラにならせていただきましたが、先生よろしくお願いします！

勝木：
よろしくお願いします！**講師の勝木 龍です。**よろしくお願いします！

（拍手）

白石：
では今回もスタジオにはですね、英語をどんなに勉強してもなかなか英語を話せるようにならなかったという5名をお招きしてますので
よろしくお願いします。

（拍手）

では、さっそくですが先生、発音はがんばったとしてもなかなかね、**英語がすらすら出てこないというのが日本人の方々の悩み**だと思うんですけれどもその原因というのは、先生、あるんでしょうか？

勝木：
原因はですね、ある2つの非効率なことを日本人はやっているからです。

白石：
2つの非効率？なるほど、どんなことでしょう？

勝木：

ものすごい非効率なことを学校で学んできているから、ということですね。

ナレーション：
われわれがやってきた、2つの非効率なこととはいったいなんでしょうか？

勝木：
日本人が英語でコミュニケーションできない1つ目の理由

使わないものばかりを覚えているということです。

コミュニケーションをするうえで、絶対に言わないだろうというようなフレーズとか表現ばかり覚えている。

それが教科書に載ってたり、英会話スクールのテキストに載ってたりするんですね。

たとえば、よくあるのが
"This is a pen."
これは、ペンです。
そんなんは言わなくてもわかっとるわ！という感じで言わないですよね。
そういう普段言わないようなことばかりを覚えているから、だめなんです。

ナレーション：
まず、1つ目の非効率なこととは、使わない英語ばかりを覚えさせられている、ということ。
学校ではテストにでるからという理由だけで、難しい英文を覚えさせられていましたが
日常会話では全くといっていいほど使う機会がないんです。

効率よく英語を上達させたいなら
よく使う英語から覚えるのが近道なんです。

勝木：
例えば、学校や会社へ行くときに**「いってきまーす！」**っていうのは何て言いますかね？岩見さん？

岩見：

ん―・・・わからないです。

ナレーション：

海外留学経験がある方でさえ「いってきます」という簡単な英語がわからないんです。

みなさん、わかりますか？

勝木：

答えとしたら、

"I'm leaving."

「出かけるよ。」と"leave"って離れるでしょ？

白石：

たとえば先生、反対の**「ただいまー」**は？

重本さん、「ただいま」わかりますよね？たぶん

重本：Come...?

白石：Come!
一言！家帰って、がらがらがらって開けて、
"Come!"
田窪さん、どうですか？

田窪：
I'm home.

勝木：あたりですね！

白石：あたり～！
（拍手）

勝木：もしくは**"I'm back."**

白石："I'm back."

勝木：どっちでもいいですね。

白石：なるほど。
ほかにも**「申し訳ないけど今日は行けません」**とかありますよね。
急に予定ができたりして。田窪さん？

田窪：
I'm sorry, and... I'm busy.

白石：
I'm sorry, I'm busy!
めちゃめちゃいいですね！

ナレーション：それでは、正解は？

勝木：**I'm afraid I can't go today.**
こう言いますね。

白石：**I'm afraid**っていうのはちょっと丁寧な形で、申し訳ないんだけど、というのを表しますね。

勝木：そうですね。
I'm sorry I can't.でもいいですね。

白石：
続いて、重本さん
「携帯番号教えて？」ってよく言いますよね（笑）

「携帯番号教えて？」英語でなんと言います？

重本：
Please tell me the number.

勝木：あー

白石：浅見さん、よく言われてるんじゃないですか？どう英語で言いますか？

浅見：えー、Tell me your number!

白石：先生どうですか？
みんないい線いってますよね？！

勝木：みんな近いですね。

携帯だから、Numberというと、あなたの番号という意味になるので
番号だけだと、背番号かなんなのかわからないし。

Tell me your phone number.
か
Tell me your cell phone number.

というのが決まり文句ですね。

Tell me the number.というとまた違うんですよね。
いろいろ言っている番号の中の**「その番号言ってください」になる**んですね。

全員：へー

勝木：
５番、８番、９番とか言っていて、「その番号言ってください」
カードとか見せて、”Tell me the number.”とか。

白石：
先生みなさん、近いことは言えてるんだけど、
ちょっとだけ違うんですね。
いい線いってると思うんですけど。
先生、せっかくだから長くてかっこいい文章なんで、みなさんで一緒に言ってみませんか？

勝木：
そうですね、
Tell me your cell phone number.

白石：せーの！

全員：Tell me your cell phone number.

勝木：そうです
それで、そのまま言えばいいんです。

ナレーション：
みなさんはこれらの表現わかりましたか？
こんなに簡単でよく使いそうな表現なのに
わからなかった人が多いんじゃないでしょうか？

勝木：

言えないのは、誰が悪いかというのは、みなさんのせいじゃないんです。

テストで出るのは難しい文法とか難しい単語
これをやらないといけないからそればかり覚えて、
こんな基本的なやつがすぐ口をついて出てこないというのが問題なんだということです。

ナレーション：
それでは、英語が話せない原因となっている
2つ目の非効率なこととは一体なんなのでしょうか？

勝木：

二つ目の理由ですけれどもそれは「英単語だけを覚えているということ」ですね。

浅見：それやってました！

白石：
なるほどー
先生、**英単語覚えてもだめなんですか？**

勝木：そうなんです。
英単語をいっぱい1000個、2000個、3000個覚えても英語はうまくなりません。

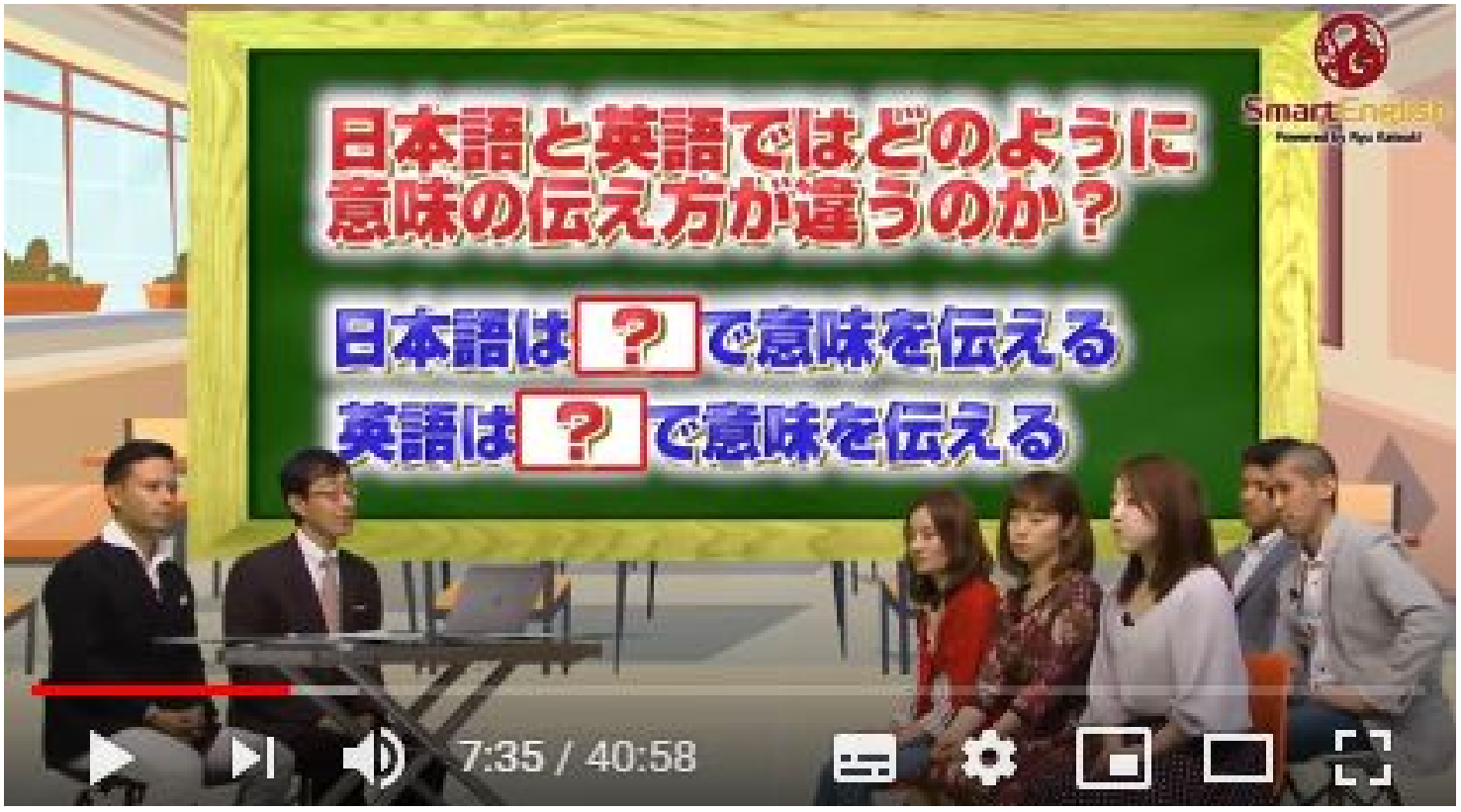
白石：どういうことですか？もうちょっと詳しく教えてください。

勝木：**英単語をね、並べ替えただけでもね、**
それで通じるわけじゃないということです。

ナレーション：
みなさん、英単語を覚える勉強していませんでしたか？それは全く意味がなかったんです。
では、なぜ英単語を覚える勉強はだめなんでしょうか。

勝木：
なぜかっていうと**日本語と英語では意味の伝え方が全く違うからです。**

ナレーション：
日本語と英語では意味の伝え方が違うとはどういうことでしょうか
具体的に教えていただきましょう。



勝木：
日本語は●●で意味を伝えるのに対して、
英語は○○で意味を伝えるんです。

白石：
難しいですね、これね。小島さんどうですか？

小島：日本語は単語で意味を伝える、

白石：お一！！英語は？

小島：英語はニュアンス？

白石：ニュアンス、雰囲気みたいなので伝えると。

勝木：すごい、推測力みたいなのすごいですね！

白石：すごい、こんなの普通わからないですよ。
先生、これ難しいんでね、そろそろ教えていただきましょうか。

勝木：はい。まず、**日本語は「助詞」で意味を伝えるということですね。**
で、**英語は「語順」で意味を伝える、**
こういうことなんです。

ナレーション：
日本語は「助詞」で意味を伝えるのに対して、
英語は「語順」で意味を伝える。
これが単語ばかり覚えても意味がない理由なんです。

まずは、日本語の「助詞で意味を伝える」とはどういうことなのでしょうか？

勝木：
助詞っていういのは**「が」**とか**「は」**とか**「を」**とか。
こういう風に単語と単語をつなぎ合わせるのが助詞、助ける、品詞ということですよね。
例えば日本語でこんなのちょっと見てもらいましょうかね。

「わたし」「テニス」「する」

なんかロボットみたいですね。
これ文章にしたらどうなりますかね？

「わたし**は**テニス**を**する」

こうなりますよね。

<u>この単語の順番を入れ替えたらどうなるか。</u>

「テニスをする、私は」
これどうですか？

白石：
意味はわかりますよね、
外国人の方が「テニスをする私は！」って言ったらわかりますもんね。

勝木：
「私はするテニスを」これはどうですか？

岩見：
セリフみたい。

白石：
強い意志が伝わってきますね！

勝木：
これ全部同じ意味で、**日本語は単語の順番を入れ替えても助詞がしっかりしているから意味が伝わるわけですよ。**

ナレーション：
このように日本語は単語の順番を入れ替えても、意味が伝わる言語なんです。
一方の英語の「語順で意味を伝える」とはどういうことなんでしょうか？

勝木：
英語には助詞に相当するもんはないんですよ。

全員：**へー！**

白石：**ない？！**

勝木：

そのかわり大事なのは「語順」です。

どの順番に並んでいるか、すなわち

「単語の場所がどこにあるかによって」意味が全く変わってくるんですね。

ナレーション：

英語は日本語と違って、語順が変わってしまうと、意味が伝わらなくなってしまうんです。

実際に先ほどの文章を英語にして、語順を変えてみましょう。

勝木：
Tennis play I.

これ、なんか無理やり訳すると、
テニスは私をもてあそぶみたいな雰囲気に、**全く意味が違いますよね。**

ナレーション：
さらに、このように語順を入れ替えてみると

勝木：
I tennis play.
私は、テニス…**よくわからないですよね。**
このように全く意味が通じないわけです。

英語の場合は適当に並べても理解してもらえないということです。

だから、もう英単語を覚えるという方法を頭の中から消し去ってください。

全く英単語を覚える必要ないということです。

ナレーション：
語順が大切な英語ではいくら単語をいっぱい知っていて、それを羅列してもなにも伝えることができないんです。

つまり、一生懸命英単語ばかり覚える勉強は**無駄だった**んです。

それでは、一体どういう勉強をしたらいいんでしょうか。

勝木：
語順が大切だということはフレーズをまるごとそのまま頭に入れるということです。

そうすれば、感覚的に全文語順が頭の中に入っていくわけです。
この、"I play tennis."なら、Iの次はplayがきて次はtennisがくるということが

語順が、そのまま正しい形ではいってくる。

そういうことで正しい語順でフレーズを頭に入れるんです。

白石：なるほど。

勝木：これが、これが**重要**なんです。

白石：わかってきました。

ナレーション：
語順で意味を伝える英語にとって大切なのは単語ではなく**語順の正しいフレーズ**、つまり、**短い文章をまるごと覚える**ことだったんです。

それではどんなフレーズを覚えたらいいんでしょうか？

勝木：
私がよく、「予定あります」っていうときに、みなさんにどういうかというと、
"I have plans.”っていうんですね。

今日はちょっと予定があるんでデート行けませんとかね。みなさん、女性の方々ね。
これ、間違えて、<u>I have a plan.</u>とかいう方がいるんですね。
これ、**a plan**っていうと**「私は戦略があります！」**という風に聞こえるわけ。

白石：
おしいですね、aがついているかどうか。

勝木：
だからこのまま、覚えていかなきゃ行けない。
要するにこのひとかたまりの、**短い文章"I have plans."で。**

次に、「道に迷いました」
これは英語で**"I got lost."**

ちょっと言ってみましょう。
"I got lost."

全員："I got lost."

勝木：
あと「気をつけて帰ってね」**”Go home safe."**

全員：”Go home safe."

勝木：
はい、で、「あなたは私にとって特別な人です。」
"You're someone to me."

全員："You're someone to me."

勝木："You're someone to me."

全員："You're someone to me."

勝木：はい。
こんな風に決まったフレーズをそのまま、よく使う順にいれていく。
だからこういう短いフレーズでそのまま頭に入れることによって
英単語は勝手に頭に入るわけです。

なんでかっていうと、**フレーズの中に単語も入っているんです。**

単語も入っているから、わざわざ単語だけ別に覚える必要ないんです。

白石：なるほど。

ナレーション：
フレーズをまるごと覚えることによって語順はもちろん、そのフレーズの中の単語も同時に暗記することができるんです。
しかし、そのフレーズ、**いくつ覚えないといけないんでしょうか？**

勝木：
フレーズっていうのは、もう無限にあるような気がしません？

全員：（うなづく）

勝木：
僕はずっと、ロンドンに住んでて、ニューヨークでも生活してる、あとは日本でも外資系の企業で勤めてる。

そんな中で、どんなフレーズが出てきてるかなってずーっと追いかけてきたんです。
気がついたら、**15万フレーズになってた。**

白石：15万個の表現？！

勝木：表現。
その中から実はすっごくよく使われるやつだけを抜き出したんですね。
もっとも出てくる部分だけを選んできて、それを講座にしたのが、今回のスマートイングリッシュなんですね。

白石：なるほどー、すばらしいですね。
実際、どれくらいの数なのかおしえていただきたいんですけれども。

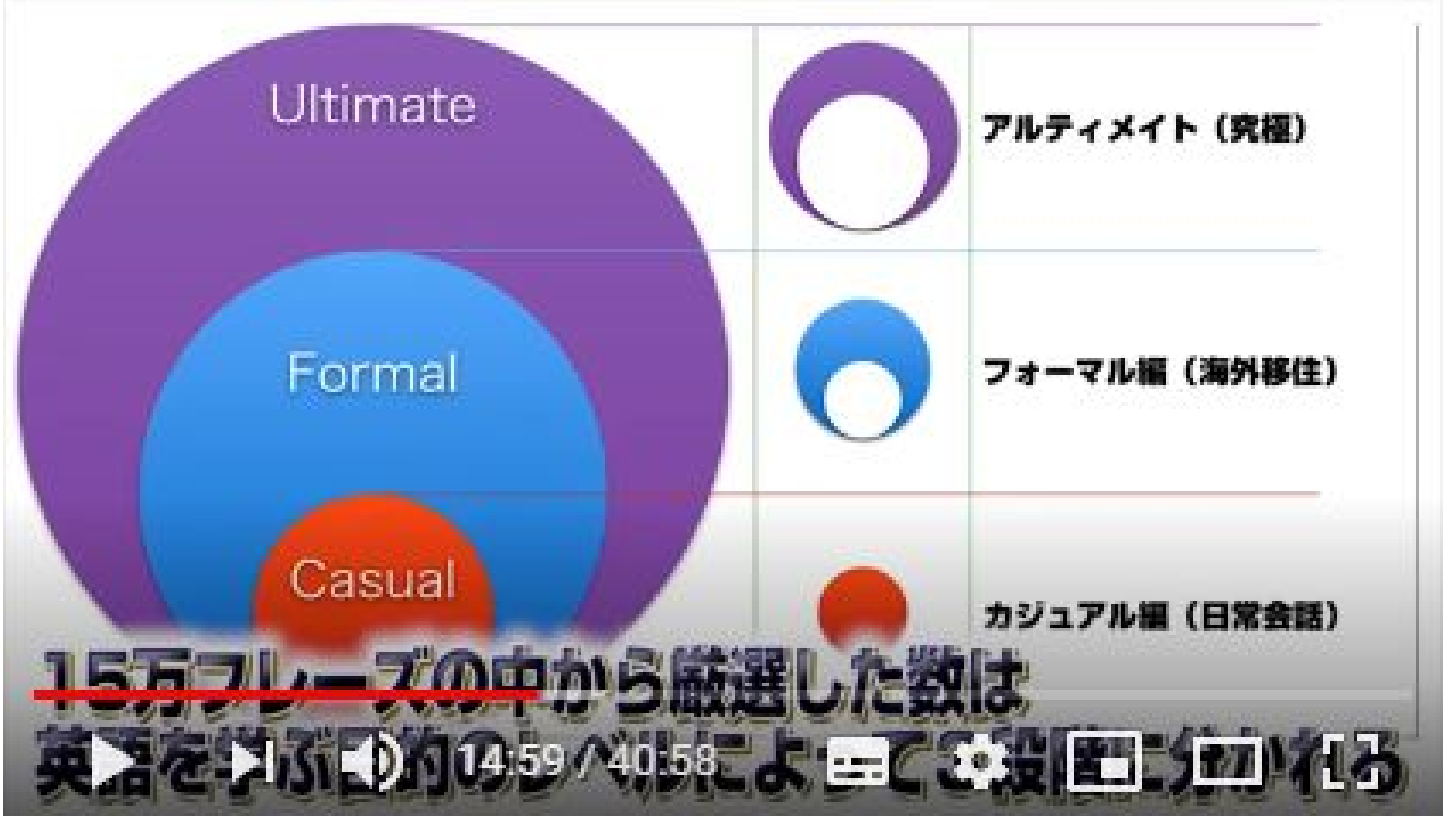
じゃあちょっと田窪さんどうですか？
もうこれだけ覚えれば問題ないと言われているものはどれくらいだと思いますか？
15万個ですからね、母数がね。

田窪：1万くらい…

白石：1万！15分の1くらいでね、どうですか？重本さん？

重本：5万個くらい

白石：5万個…先生、実際に数なんですけれども、どれくらいのものが必要なのか教えていただけますか？



ナレーション：
15万フレーズの中から先生が厳選した数は、英語を学ぶ目的によって３段階に分かれるのですが、
まず、ほとんどの人が目標にする**日常会話レベル、その数はなんと**

勝木：**840です。**
この840は何かというと、日本国内で外国人の人と飲み会に行ったり、パーティで知り合ったり、
お友達と遊園地に行ったり。

白石：
これには道案内とか、海外旅行に行って自分だけの旅を作ってみたりとか。

勝木：

それくらいの普通の日常会話をできるようになるには、たった**840**でいいんです。

白石：
これを目標にされる方は非常に多いですね、まずはここからだと。

勝木：
そうですね、ほとんどの方は受験でものすごい勉強してきたんだけど
この840すらできてない人が多いので、
この840の部分をやることによって、かなり英会話力が伸びます。

白石：なるほど！！

ナレーション：
日常会話レベルならたったの840個のフレーズを覚えるだけで十分なんです。
これは、センター試験の英語で出題される数のおよそ6分の1

かなり少ないと思いませんか？
さらに、もっと上の英語を学びたい方は
目的によって、覚えるフレーズの数が異なります。

映画を字幕なしで見たい、
海外移住をして生活したいという方は２段階目の
1680フレーズ。

さらに英語を使って議論をしたいという方は
現地ネイティブと同等かそれ以上の語彙力をつける必要があり**6970フレーズ**を覚える必要があります。

しかし、どんなに高いレベルの英語を学びたい方も

まずは会話のコアになる840フレーズを覚えることがもっとも重要なんです。

勝木：
もう一度言いますけども、ほとんどのみなさんはこのコアになる部分、**カジュアルの840というのができていないんです、実は！**
これはもう、日常会話の中で、コアになる部分ですね。
コアになる部分なんで、算数でいうと九九にあたります。

この九九ができないと全然話すことはできない。

逆にいうと、**九九ができたらどんどん応用ができるようになるということですね。**

白石：
まずはここからということですね。

ナレーション：
まず大事なのは840フレーズ、
しかしこれらのフレーズを覚えるときにも注意点が2つあります。
まず1つ目は

勝木：
単に覚えるだけじゃダメなんです。
きちっとした発音で、リズムもそのまま、ネイティブのモノマネをする形で
そのままの形、正しい発音がまず基本になります。
正しい発音で、まずやらないといけないということですね。

正しい発音で、このフレーズ840を完璧に体で覚えていくという、ここからスタートすることです。

ナレーション：
続いて2つ目の注意点は

勝木：
今、覚えると言いましたけど
覚えるというのは体で覚えないといけないんですね、**正しい発音で体で覚えないといけない。**

体で覚えるというのはどういうことかというと、
フレーズが日本語で言いたいなと思ったら1秒、0.5秒でぽんと口をついて出てこないといけない。

1秒以内にぽんぽん出てくるように言わないといけない。この**瞬間でフレーズを出す訓練**、これが大事なんです。

ポーンって膝を叩いたら、きゅって反応する。
それぐらいの反応じゃないといけないんです。

ナレーション：
しかし、この2つの注意点に気をつけながら840個ものフレーズを覚えるとなると
大変そうと思う人もいるんじゃないでしょうか。

そんな人のために簡単に覚えられる方法を公開します。

勝木：
やっぱり840というのもちょっと多いなという人もいると思うんですね。

紙とペンで暗記するというのもちょっと難しいなと。
そういう**従来の英語の勉強方法だと、ちょっと大変だというのはわかります。**
でも脳科学を使ってその８４０のフレーズが反射的に口をついて出てくるように刷り込む方法があるんですね、実は。

それがこのアプリ「高速記憶エンジン」というアプリなんですね。

ナレーション：
このアプリを使えば、いつでもどこでも簡単に

そして、最新の脳科学を駆使して**通常の9倍の速さでフレーズを暗記することができるようになるんです。**
それでは、実際に体験してもらいましょう。

白石：
では、お願いします。

浅見：見るだけでいいんですね？

白石：見てるだけでいいです。

（アプリ体験中）

白石：じゃあ今のフラッシュバックトレーニングよくわからないですよね。

でも準備体操になっているんです、脳の。
だから大丈夫です。

浅見：**えー？！**

白石：
これから10個のフレーズが3回、違うスピードで流れてきます。
それを声をだしてずーっとついてってください。

アプリ：よくできましたね　Well done.
全員：Well done!

浅見：早い！

アプリ：そんなことどうでもいいよ　Who cares?

全員：Who cares?

アプリ：真面目にやって　Be serious.
全員：Be serious.

アプリ：落ち着いて　Calm down.
全員：Calm down.

アプリ：ねぇ聞いてよ　Guess what?
全員：Guess what?

アプリ：はやく戻ってきてね　Hurry back.
全員：Hurry back.

アプリ：３番になった　I came third.
全員：I came third.

アプリ：道に迷った　I got lost.
全員：I got lost.

アプリ：じゃないといいけどね　I hope not.
全員：I hope not.

アプリ：思い出した　I remember.

全員：I remember.

（3回、違うスピードで繰り返す）

白石：
今から、「OK」を押すと、問題が出ます。
1問6秒です。

浅見：6秒…

白石：
10問中8問合ってれば合格で次のレベルに進めるんで、一緒にやってみましょう！

（アプリ体験中）

白石：**10問中9問！拍手～！！**
（拍手）

面白いですか？ありがとうございます。
ちょっと実際使ってみた感想聞いてみようかな、どうでしたか？

浅見：すごい楽しかったし、なんだか不思議なんですけど覚えちゃいました。
覚えてしまう自分にびっくりしました。

ナレーション：
こんなに楽しく覚えられるこの高速記憶エンジンの最大の特徴は、<u>このインパクトのあるイラストとネイティブが話す発音。</u>

（脳科学の専門家からの解説）
smart brain Clinic B-rain Clinic 高 卓士院長：
脳って、声とか、言語で聞いた、つまり耳から入った情報を記憶するルートと
あとは視覚的に、目から入って、脳の中に記憶するルートっていうのは実は別々なんですね。

でも、ワーキングメモリーっていって、とりあえず一旦短期記憶の貯蔵庫に入るんですけれども

そこに入るときに、聴覚だけで入った情報もあるんですけれども、**それよりも聴覚と視覚のビジュアルな情報もドッキングさせて**
短期記憶にしまい込む方が記憶が定着しやすいというのも脳科学的に証明されているんですね。

ナレーション：
見て覚える記憶と聞いて覚える記憶は
同じ記憶ですが全く別物。
しかし、この2つが合わさることで同じ記憶となり
記憶の力がパワーアップするというのが証明されているんです。

視覚だけの記憶パワーは**83%**
聴覚だけの記憶パワーは**11%**

これらがうまく合わさることにより、英会話スクールの聴覚だけの学習方法の
およそ9倍の効果があるんです。

ちなみに、書き取りなどの触覚を使った記憶パワーは**6%**にも満たないため
ほとんど効果はありません。

高速記憶エンジンは視覚からの記憶と聴覚からの記憶、**これらを足した記憶力になるようにできているので忘れにくいということなんです。**

勝木：
今やっていただいのが1セットで3分、
この3分やっただけで覚えてしまう人もいるんですけれども

この3分を7回やる、21分やると1日21分やると、
10個のフレーズが確実に頭に入ってくるんですね。

今のでも頭に入ったでしょ？

浅見：（うなづく）

勝木：**今のを6回、7回やると、いやでも頭に入っちゃうわけです。**

ナレーション：
1回3分なので、通勤の間、お昼休み、寝る前などちょっとした時間で毎日遊びながら10フレーズを覚えることができるんです。

1日10フレーズ覚えていくと、**3ヶ月で900フレーズ**

つまり、勝木先生が厳選した840フレーズをたった3ヶ月でマスターし、日常会話レベルの英語が話せるようになるんです。

白石：でも先生！
一回覚えても時間が経つと忘れてしまうという人も多いと思います。
脳科学でいうと非常に有名な理論で**「エビングハウスの忘却曲線」**ってあるじゃないですか。

勝木：んーそうですね。

白石：これどういうことかというと、
一回覚えたものでも30分、1時間、1日、3日、5日って経つとどんどん忘れていくと。
なのでそのタイミングでもう一回復習した人は
二度と忘れないし、そのタイミングでやらなかった人はまたどんどんどんどん
同じことの繰り返しで忘れていっちゃうと。

でね、先生、このアプリもわかってて
ちょうど忘れたタイミングでもう一回テストがでてくるんですよ。

それをちゃんとクリアするようにできてるんで
みなさんも1日前にやったこと、3日前にやったことが**ちょうどアプリでまたどんどんテストで出てくるので、それをクリアしてどんどん記憶に定着させていくと。**

そういう風にもアプリが先生作られているので、
素晴らしい機能、ありがとうございます。

ナレーション：
こちらが記憶したことをどれくらいの期間覚えているかを表した「エビングハウスの忘却曲線」
ご覧のように、
人間の脳は覚えたことを1時間後には半分、1日後には7割以上も忘れてしまうようにできているんです。

あなたは、昨日の食事のメニューを覚えていますか？
昨日、3食食べていたとしたら、覚えているのは晩御飯のメニューくらいではないでしょうか。

これが、人間の脳の仕組みなんです。

このデータをもとに高速記憶エンジンでは

忘れかけた頃には復習できるようになっており
記憶が定着するように作られているんです。

さらにこの高速記憶エンジンには
フレーズの暗記だけでなく
発音がチェックできる機能もついているんです。

白石：
今目の前にね、**"Well done."**と出てきてますけどね
右のところに発音チェックっていうのが出てきているので
その発音チェックのボタンを押して、自分の本気の
"Well done."
ちょっと言ってみましょう。

そうすると、○か×かっていうのをね、アプリが判断してくれるんでね。

勝木：
あはは！ちょっと緊張しますね。

白石：じゃあ物は試しで、
一旦発音チェックをやってみましょう

田窪：はい！"Well ダン."

岩見：お？

アプリ：ブブー

白石：：おしい！

そういう感じです。
Wellはちゃんと伝わっていたけど、doneっていうのが少し、先生、あれでしたかね？

勝木：DoneのNは**<u>舌を上につけないといけないんですよ、</u>**

doNe!!!

ン～～～～～～～～Well doNe!!

ちょっと言ってみましょう。

doNe!!
doNe!!
doNe!!
doNe!!

これが大事なんです。

勝木：**"Well done."**

全員："Well done."

白石：
じゃあ、実際に、こんなに短い発音でしたけど、Nの発音を踏まえて実際正解するのか、やってみましょう！
どうぞ！

田窪：**"Well done."**

アプリ：ピンポンピンポン！

全員：お～～～～！！

白石：おー！ハイタッチ、ハイタッチ！

勝木：ははは！

ナレーション：
さらに、**自分の発音を録音し**
ネイティブの発音と比較する機能もついているんです。

白石：
今ここに出ているのが、**"Calm down."**出てますね。
これを自分の本気の"Calm down."で
録音してみましょう！

よろしいですか？

浅見：はい！　カームダゥン！

白石：
ほぉ、これで今浅見さんの本気の"Calm down."がいかれたわけですね。
その下の三角の再生ボタンを押すとネイティブの発音と比較できると。
じゃあ押してみましょう。

アプリ：**"Calm down."**
浅見の音声：**"Calm down."**

ナレーション：
このように自分の発音とネイティブの発音を連続して再生し

正しい発音だけではなく、正しい発音のリズムを確認できるというメリットがあるんです。

勝木：
"Calm"ときちっと発音できて、"down"って発音できても
それだけじゃだめなんです。
"Calm down."

白石：
こういう風に来るわけですね。（手で声の高低を表す）

勝木：
そうです。
Wake, up. ではなくて **Wake up!**

それぞれの　WakeとUpだけ正しくてもだめなんです。
リズムなんです。

白石：
そうか、どこを強調するか。

勝木：
そうです、**どこを強調してどこをゆっくり言うか**
こういうリズムが大切なんです。
こういうリズムを確認するためにこの機能があるんですね。

白石：なるほど。

ナレーション：
このように最新の脳科学を駆使した高速記憶エンジンでは
たった3ヶ月で英語が話せるようになる機能が満載なんです。
しかし、長い会話をするためには短いフレーズだけではなく
長文を覚えることも必要だと思っていませんか？

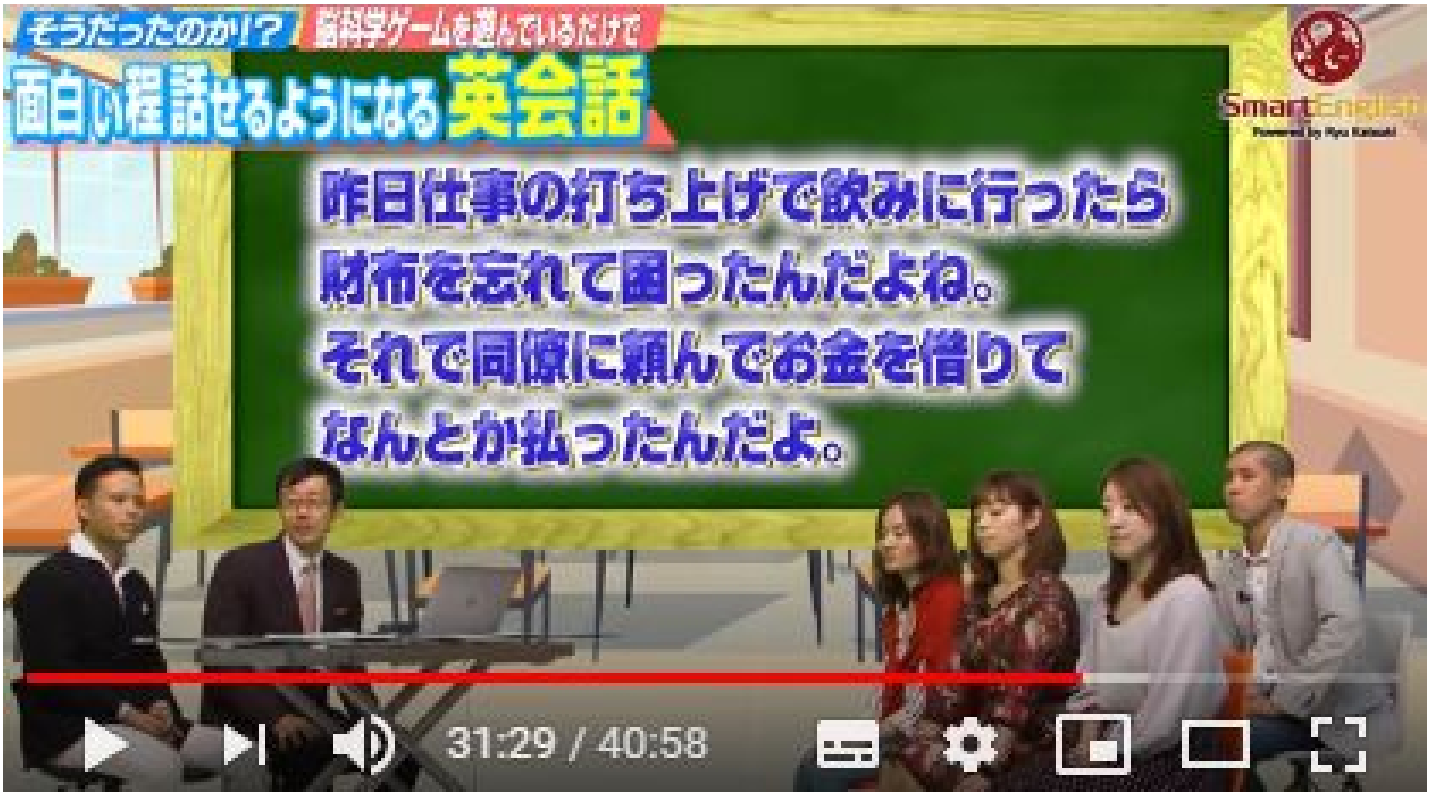
勝木：
ぜったいその長文なんて覚える必要一切ありません。
必要一切なし。
やめてください！

ナレーション：
長文を覚える必要なんて一切ないんです。
それは一体なぜなんでしょうか？

勝木：
長文っていうのは何かっていうと
これとても大事なんですけど
短いフレーズを組み合わせたものなんですね。

だから短いフレーズを組み合わせたものっていうのはどういうことかというと
短いフレーズの組み合わせ方は、いっぱい、山ほどあるんですね。
それを全部覚えるなんて不可能なんですよね。

ナレーション：
長文も所詮はフレーズの組み合わせなんです。
実際に日本語の長文を例に見てみましょう。



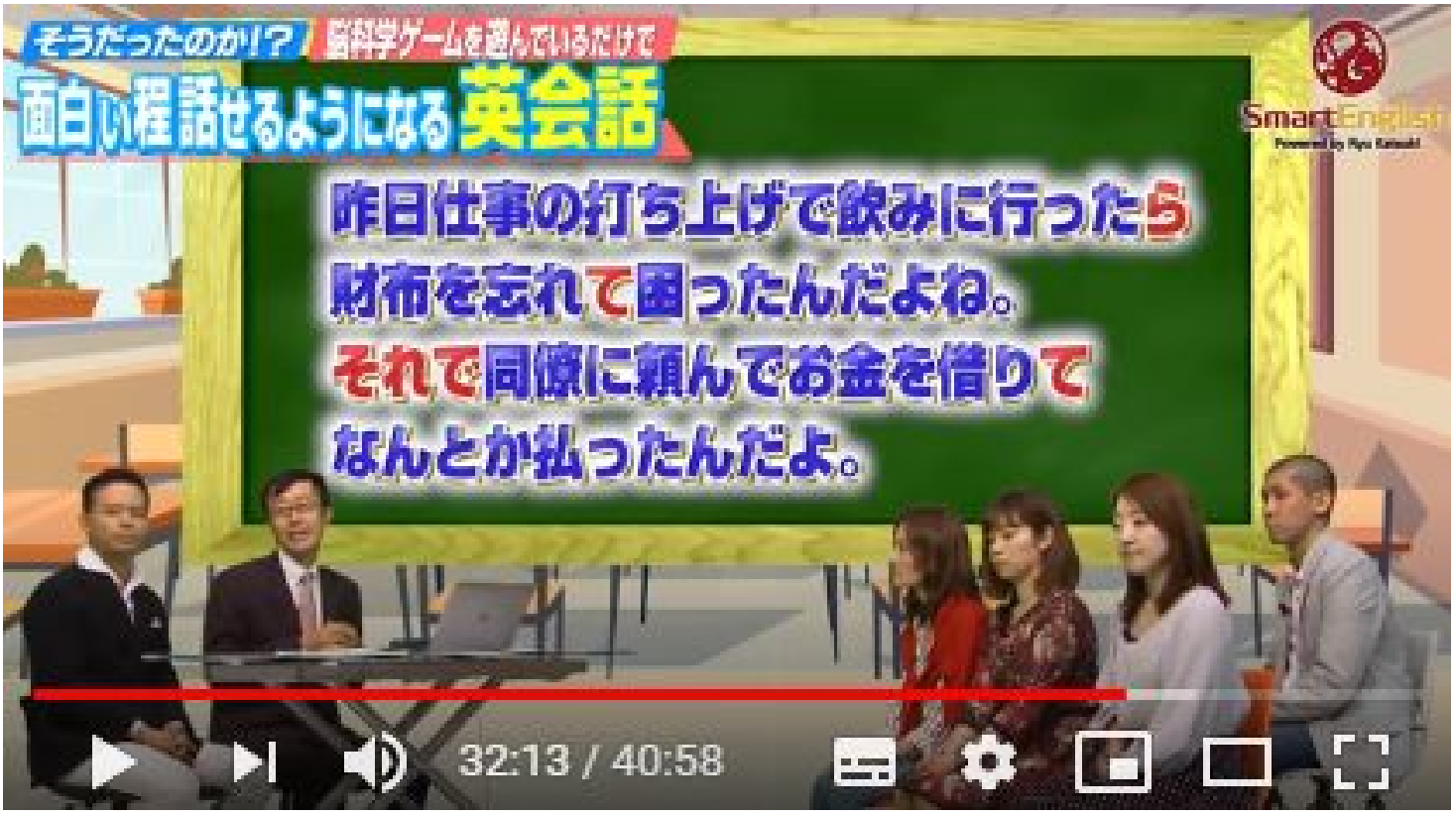
勝木：
「昨日仕事の打ち上げで飲みに行ったら、
財布を忘れて困ったんだよね。
それで同僚に頼んでお金を借りてなんとか払ったんだよ。」

長文ですよね。
この文章、パッと見て、聞いて、そのあと別のところを見てすぐ言えますか？日本語で。

浅見：あー

勝木：
ちゃんと言えないですよね、**丸覚えする必要ないですし。**
みなさんどんなふうに読んでいるかというと
まず、
「昨日仕事の打ち上げで飲みに行った」
これが1つですよね
で、「財布を忘れて困った」
「同僚に頼んだ、そしてお金を借りた」
「だからなんとか払えた」
こういう短い文章の組み合わせなんですよね。
だから、日本語でいうと「接続詞」が入っているわけですよ。

白石：うんうん。



勝木：
昨日仕事の打ち上げで飲みに行った**「ら」**
忘れて困ったんだよね。
「それで」同僚に頼んでお金をかりて
「で」なんとか払えたんだよ

こういう形で短いフレーズを接続詞で繋げて長くしていっているから
覚えやすいし、言えるわけですよ。

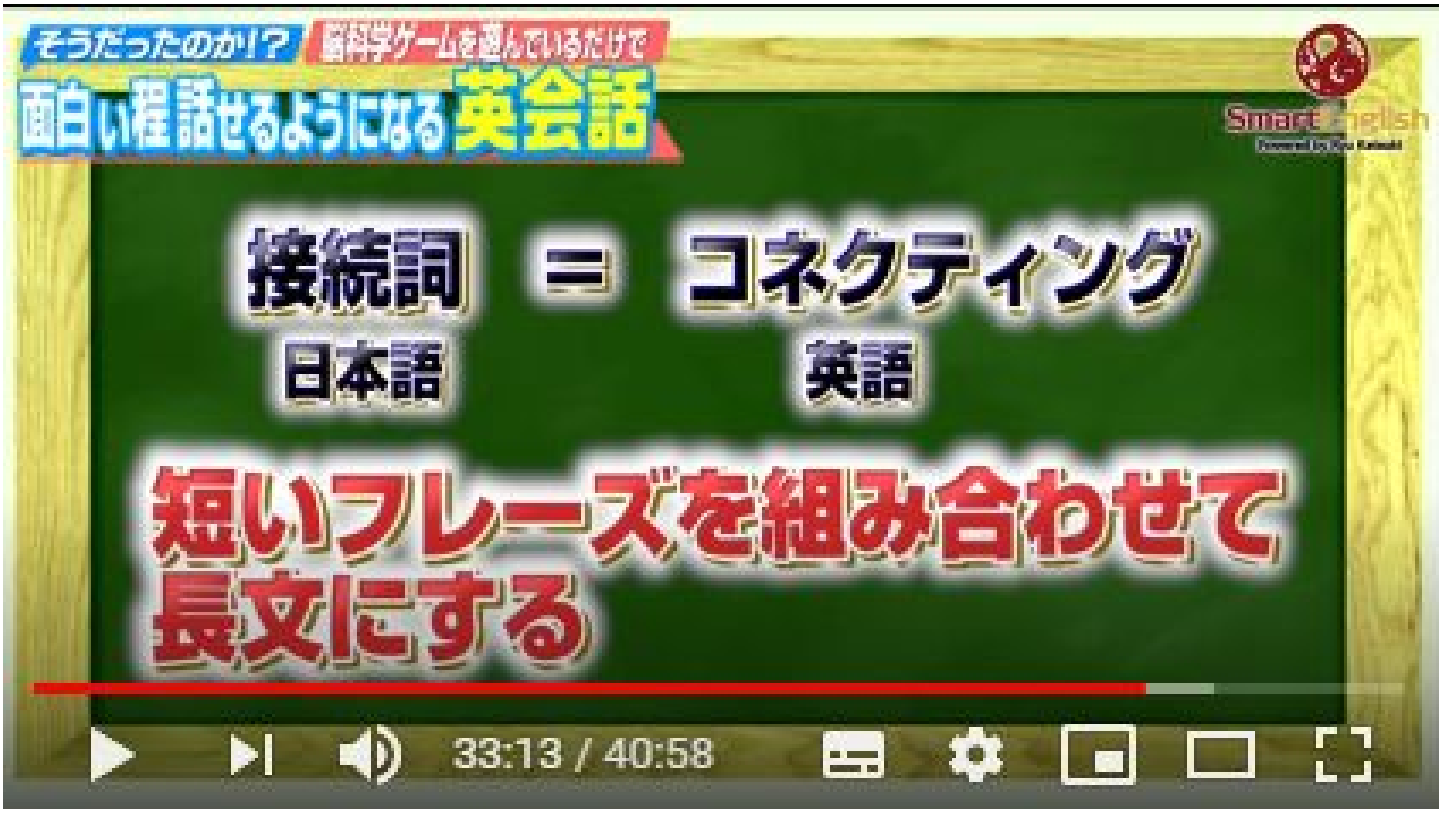
白石：なるほど、
日本語の場合そうなりますね。
接続詞で、1mの文章を10m、20m、30mに伸ばしていると。

英語の場合はどうなんですか？

勝木：**英語も全く同じです。**

白石：そこは同じなんですか？

勝木：
英語の場合も同じで、これを全部覚えようとしたら覚えられない。
だから短いフレーズをまず覚えます。
それを後でつなげていく、だけでいい。
この「つなぐ」練習をしないといけない。
訓練をしないといけない。
この「つなぐ」訓練を私の講座では「コネクティング」講座といいます。



ナレーション：
英語の長文も日本語の接続詞と同じように
「コネクティング」を使って短い文章をつなぎ合わせて
長文になっているんです。

勝木：
簡単な例を見ていきましょう。

「雨が降るといけないから、傘を持っていきなさい」
ちょっと言ってみていただいていいですか、浅見さん。

浅見：**英語でですか？**

勝木：英語で。

浅見：え、やば！

全員：（笑）

勝木：
これを短くすると簡単になるんですよね。
「雨が降る」って英語でなんて言いますか？

浅見：raining...

勝木：
It rains. ですね。これだけ、簡単、短い。
ちょっと言ってみましょう。It rains.

全員：It rains.

勝木：
そう、雨が降る。
次、「傘を持っていきなさい」は？

田窪：bring an umbrella.

白石：ああいいですね。

勝木：「持っていく」っていうのは"bring"じゃないんですよ。
"bring"っていうのは「あなたの方に持っていく」ときに"bring"っていうんですね。
わかります？
今から、あなたのところに向かって持っていく時は"bring"
全然違うところに持っていく時は**"take"**

だから、ここは**"Take your umbrella with you."**
"with you"っていうのは「身につけて」って意味なんですよね。

白石：うん、「あなたと共に」みたいな意味ですよね。

勝木：この"Take your umbrella with you."だけなら簡単でしょ？
"It rains."も簡単でしょ？
これを英語で2つにつなげると、
"Take your umbrella with you in case it rains."

岩見：あ～

勝木：
"in case"っていうのは、「～の場合に備えて」という意味ですね。

こういう感じで短いフレーズを覚えて、"in case"というのだけ覚えれば
あとはどんどんどんどん繋がっていくわけですね。

白石：先生**こんなん言えたらめちゃめちゃかっこいいじゃないですか。**

勝木：かっこいいですよ。
ではみんなで発音してみましょうか？

「雨が降るといけないから、傘を持っていきなさい」
"Take your umbrella with you in case it rains."

全員："Take your umbrella with you in case it rains."

勝木：もう一回いきましょう。
"Take your umbrella with you in case it rains."

全員："Take your umbrella with you in case it rains."

勝木：はい、そうですね。

白石：では先生、こういう"in case"みたいな、接続詞がいっぱいあったら
より文章を長くできると思うんですが、
何個も知りたいけど、いくつくらいあるんですか？

勝木：いくつくらいあると思いますか？田窪さん。

田窪：100個くらい。

白石：100個はあるでしょうね、だってペラペラになるんだから
小島さんはどうですか？

小島：えー…200？

白石：：まあ200個くらいはいいんじゃないですか？先生覚えても。

勝木：実は、ぼくは15万フレーズも、映画とかをよく観て本当に調べたんですけど。

本当によく出てくるのはたったの24個です。

小島：**えー？！**

白石：**おーーーー！**

ナレーション：

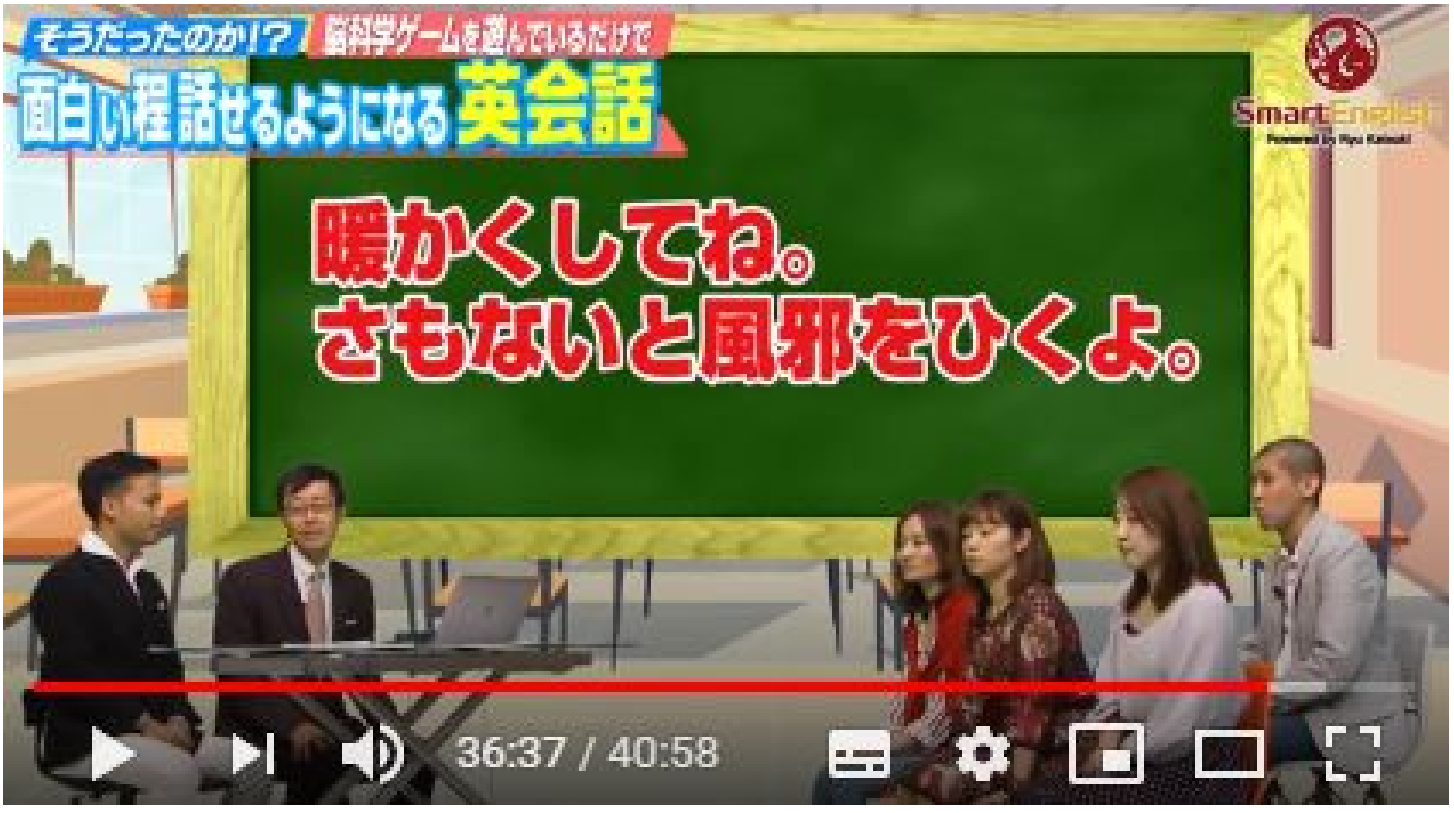
覚えないといけないコネクティングはたったの24個だけ。
840個のフレーズと、24個のコネクティングで
どんな長文も話すことができるようになるんです。

勝木：もう一個例を言っていきたいと思うんですけども。

白石：はい。

勝木：これもよく使うんですけども
"Otherwise"「さもないと」。
これをつかって例文を見ていきましょう。

モニターを見てくださいね。



「暖かくしてね、さもないと、風邪引くよ」

はい、じゃあどういうか言ってみましょうか。
岩見さん、**3年の留学経験を生かして。**

岩見：えー

白石：やたらこう難しいの当てますね。

岩見：Take care otherwise you catch a cold.

勝木：**あー、いい感じ、ちょっと近いですね。**

白石：８割正解ですね。

勝木：
「暖かくしてね」ってどんな感じ？浅見さん。

浅見：あったかいは**"warm"**

白石：おー
なんとか warm

浅見：**Dress warm?**

勝木：本当に？！（拍手）

本当に、すごいですね！
風邪引くは、さっき岩見さんが言ってくれた**"Catch a cold."**

白石：
二人の言ったことに"otherwise"が足されると？
先生言ってみてください、完璧なのを。

勝木：**"Dress warm otherwise you catch a cold."**

白石：では、みんなで言ってみましょうか、せーの。

全員："Dress warm otherwise you catch a cold."

勝木：すごい、これで言えるようになったでしょう？

白石：すごい、しかも先生これめちゃめちゃかっこいいじゃないですか。

ナレーション：
コネクティングの基本がわかったところで、
さらに長い長文にも挑戦してみましょう。

白石：先生、先ほど、最初にやった傘のやつと、今やった文、これさらにくっつけると
また長い文章になりそうじゃないですか。

勝木：例えばね、今「雨が降るといけないから、傘を持っていきなさい、でもう一個伝えときたい、あったかくしていかないと、風邪もひいちゃうよ」と。

白石：2つね、お母さんが言ってるんでしょうね。

勝木：そうそうそう。
もう一個言う時につなぐ接続詞として、**"One more thing"**

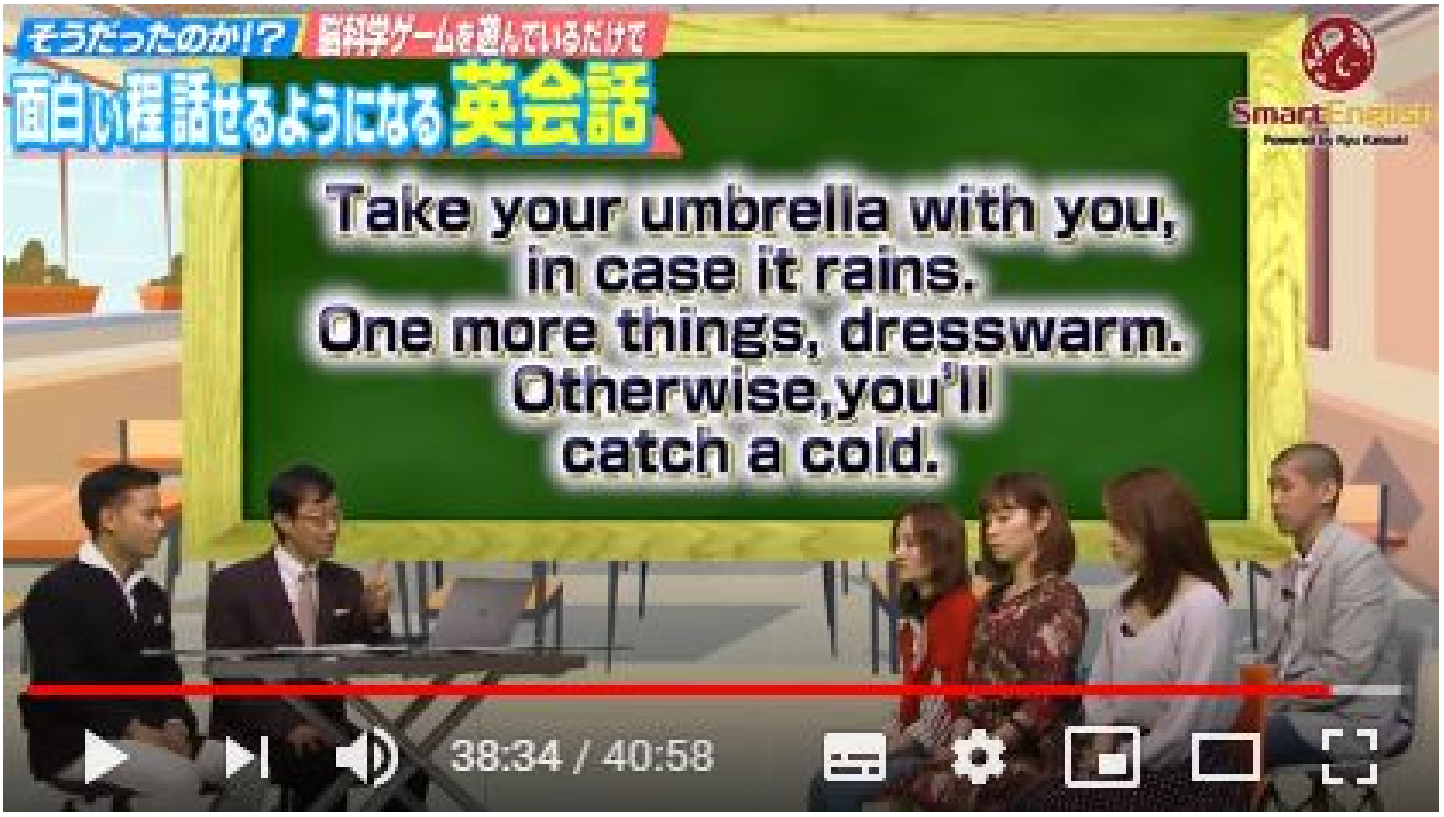
白石："One more thing"

勝木：そう、「もう一個だけ」って
だから、ここで"One more thing"入れて、繋いで言ってみましょうか。

"Take your umbrella with you in case it rains. One more thing, Dress warm otherwise you catch a cold."

はい、みんなで言ってみましょう。

白石：せーの。



全員"Take your umbrella with you in case it rains. One more thing, Dress warm otherwise you catch a cold."

勝木：**いいですねー。**

（拍手）

白石：お母さんのこと思い出しました、僕も
たしかにどんどんかっこいい英会話になってきたと思うんですけど
使っている単語は本当に簡単ですよね。
すぐ英会話ができている感じに思うんですけど、いかがですか、先生？

勝木：そうですね。
こんなに簡単な単語ですら日本人は言えないんですよ。
なぜならみんな、難しいことばっかり頭に入れてくるから。

白石：覚えさせられているんですね。

勝木：そうそう。
難しいことばっかりやっているから。
こんなに簡単な中学校レベルの単語だけで全部できるわけですね。

白石：苦しんでるね、本当に。

勝木：そうです。
これなんでダメかと言うと、みなさんが悪いわけじゃない
今までの英語の教え方、学校での英語の教え方がまずかった、
みなさんの学び方がまずかった。
これにつきるわけですね。

だから、正しい方法を使って努力をする。

正しい方法でも努力しないとダメですよ、
努力すれば、確実に成果がわかるというのが私の開発した方法です。

ナレーション：
次回の「脳科学ゲームで遊んでいるだけで面白いほど話せるようになる英会話」は？

実際に勝木先生に学んだ生徒さんたちがどこまで英語ができるようになったか大公開

白石：
もう本当にあなたと同じ、もしくはあなたよりもう少し英語ができなかった方が
実際に３ヶ月学んでね、どれだけペラペラになれているのかというのをインタビューして
外国人のネイティブの人と話している動画っていうのを見ていただくことで

私も実は喋れるようになるんじゃないかって確信を持てるようになると思うので
こちらの方ご覧いただきたいと思います。

勝木：はい

ナレーション：さらに

白石：
実際にいつからやれるのか
どういう風に参加できるのか
値段はいくらなのか
そのあたりの全貌を明らかにしたいと思いますのでぜひね、次の動画まで心待ちにしてお待ちしていただければと思います。